

## 「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション 2023」にてスポーツ庁長官賞を受賞

2023年11月10日に開催された「スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション」（主催：スポーツ庁・会場：大手町三井ホール）にて、人々が気軽に運動・スポーツに親しむことのできる場になり得る、10年後のスポーツ・健康まちづくりを描いたアイデアを提案するために、二次審査に臨み、スポーツ学部（松崎ゼミナール）に所属する7名の学生（橋口 采音、徳重 奈桜、長田 莉穂、田中 萌、牧島 彩華、飯盛 優和、吉元 大空）がアイデア部門でスポーツ庁長官賞を受賞いたしました。



学生たちは、「先人たちが築いてきた「遊び」の文化を「身体」を使って次世代（未来）へ継承する」と題し、室伏広治氏（スポーツ庁長官）ら審査員に対して、アイデアの提案を行いました。学生らが提案したアイデアは、「第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）」に記される、スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」「スポーツを「つくる/はぐくむ」・スポーツで「あつまり、ともに、つながる」・スポーツに「誰もがアクセスできる」」に基づいています。具体的な内容としては、オセロや将棋、囲碁、チェスといった誰しもが触れたことのある“遊び”を「身体」を使って楽しむための、“共同遊び空間”を創出することで、子どもも大人も多世代の人々が、家族や友達、恋人と一緒に、九州で一番「身体」を使って遊べる、新しいまちづくりを提案しました。

## ▼学生らによる、二次審査でのプレゼンテーション



## ▼スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2023にて受賞自治体となった首長様の前でのプレゼンテーション



## ▼アイデア部門・デザイン部門の受賞者らによる記念撮影



今後、学生たちは、対象自治体である宗像市の市長様へのプレゼンテーションを行うために、引き続き、ゼミ活動を通じて、提案したアイデアの実現化に向けた準備を進めて参ります。スポーツ学部にも所属する学生たちの、スポーツの本質「遊び」を中心に位置づけた、新たなまちづくりプロジェクトに、ご期待ください。

コンペティションの詳細については、下記のページをご覧ください。

○[スポーツ・健康まちづくりデザイン 学生コンペティション 2023 \(スポーツ庁 ホームページ\)](#)

○[PRTIMES](#)